

【生徒の実態】

- ・毎朝朝食を食べている生徒 87%
- ・主食・主菜・副菜がそろった食事を1日に2回以上食べている生徒 38.2%
- ・食文化を継承している生徒 55.6%
- ・食事のマナーを身に付けている生徒 60%

【保護者・地域の実態】

- ・核家族や共働き世帯が多い。
- ・塾や習い事により、帰宅時間が遅い生徒が多い。
- ・上記から、外食や中食が多い印象がある。
- ・家庭料理に使われる食材が豊かである。

【学校教育目標】

学ぶ喜びと 思いやりにあふれ、たくましく生きる生徒の育成
～絆と希望を胸に、夢の実現へ～

【目指す生徒像】

- 主体的に学ぶ生徒
- 多様な価値観を認めながら、協働的に活動できる生徒
- 心身の健康に留意する態度、折れない心をもつ生徒

【本年度の重点目標】

- 指導と評価の一体化による教育実践
- 集団や社会の形成者としての見方・考え方の育成
- 健康で安全な生活を実践する能力と態度の育成

【浦安市食育推進計画】

<基本理念>
「食でつながる 元気なところとからだを育むまち」

<基本目標>
(1) 健全な食生活を送ろう
(2) 食を楽しみ大切にしよう
(3) 食でつながろう

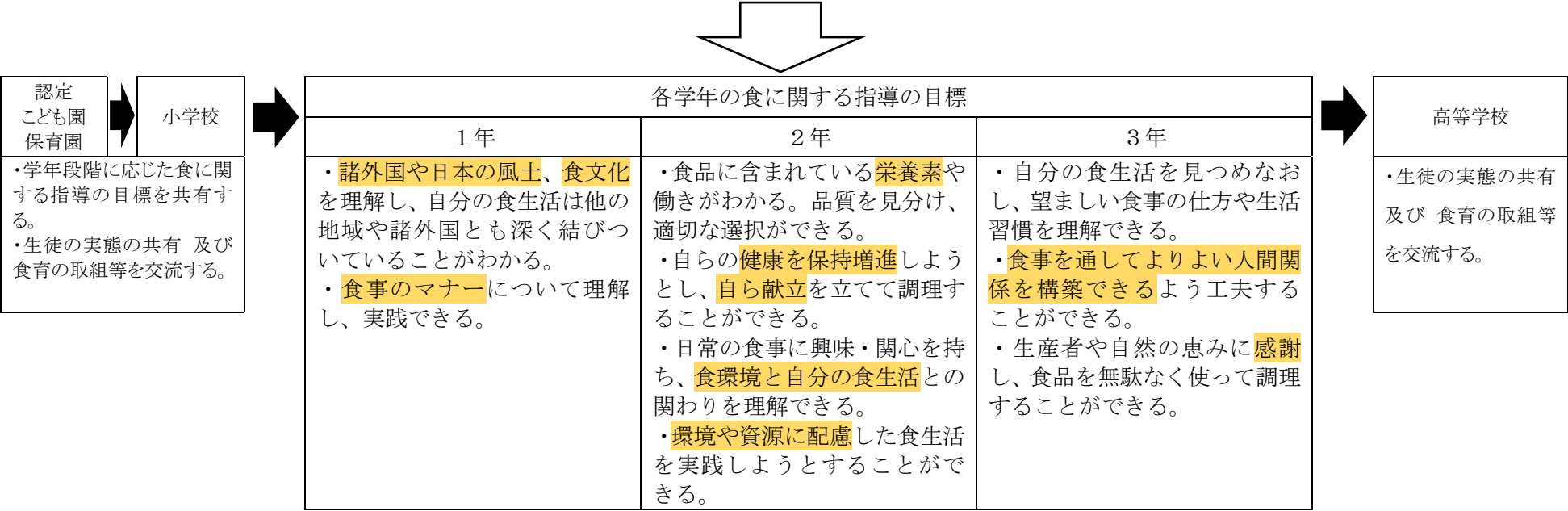
【食に関する指導の目標】

- 食事の重要性や栄養バランス、食文化等について理解し、健康で健全な食生活に関する知識や技能を身に付けている。(知識・技能)
- 食生活や食の選択について考え、正しい知識・情報に基づき、自ら管理したり、判断したりすることができる。(思考力・判断力・表現力)
- 主体的に自他の健康な食生活を実現しようとし、食や食文化、食料生産等に関わる人々に対して感謝する心をもち、食事のマナーや食事を通じた人間関係を形成しようとする態度を身に付けている。(学びに向かう力・人間性等)

【第4次千葉県食育推進計画】

<基本目標>
「ちばの恵み」を取り入れたバランスよい食生活の実践による生涯健康で心豊かな人づくり

<3つの施策>
Ⅰライフステージに対応した食育の推進
Ⅱ生産から消費まで食のつながりを意識した食育の推進
Ⅲちばの食育を進める環境づくり



食育推進組織(食育推進委員会)

- ・生徒の食に関する指導の充実を図り、心身ともに健康な生徒を育成するために食育推進委員会を設定する。
- ・食育推進委員会は、校長、教頭、養護教諭、教務主任、その他校長が必要と認める職員をもって構成する。

食に関する指導

教科等における食に関する指導:関連する教科等において食に関する指導の視点を位置付けて指導。
社会、理科、技術・家庭、保健体育、道徳、総合的な学習の時間、特別活動 等

給食の時間における食に関する指導:食に関する指導:献立を通して学習、教科等で学習したことを確認 等

給食指導:準備から片付けまでの一連の指導の中で習得

個別的な相談指導:肥満、やせ傾向、食物アレルギー、疾患、偏食、スポーツ、食行動の問題等について、管理職、保健主事、学級担任、養護教諭、体育主任(部活動担当)、SC、SSW 等が連携して対応する。

地場産物の活用

給食センターの献立表を用いて、地場産物についての理解が深まるよう、教科や委員会活動で連携する。

家庭・地域との連携

積極的な情報発信、関係者評価の実施、地域ネットワーク(人材バンク)等の活用

学校だより、食育(給食)だより、保健だより、学校給食試食会、家庭教育学級、学校保健委員会、講演会、料理教室、自治体広報誌、ホームページ、公民館活動、食生活推進委員、生産者団体、地域食育推進委員会、学校運営協議会

食育推進の評価

活動指標:計画に基づいて、食に関する指導、学校給食の管理、連携・調整を行うことができたか。

成果指標: 毎朝朝食を食べている生徒 80.0%
主食・主菜・副菜がそろった朝食を1日に2回以上食べている生徒 60.0%以上
食文化を継承している生徒 70%
食事のマナーを理解し、身に着けている生徒 80.0%以上